

報道機関各位

令和7年9月5日  
北九州市消防局

## 令和7年度JICA課題別研修 「消防・防災」開講！ ～北九州市消防局の知識・技術を世界へ～

このJICA課題別研修「消防・防災」は、国際協力事業として総務省消防庁、独立行政法人国際協力機構(JICA)及び北九州市消防局の3者が連携し、研修員の自国における防災対応力の強化や経済発展、福祉の向上を目指す取り組みです。

昭和63年から実施し、これまで90の国と地域から312人の研修員を受け入れ、今年で36回目となります。

当局のほかに、大阪市消防局が平成10年から「救急救助」コースを実施しており、消防に関連する研修は全国でもこの2都市に限られます。

※今年度は大阪万博のため「救急救助」コースは実施されません。

令和7年度の研修では、8の国と地域から選ばれた10人の研修員（開発途上国の指導的立場にある消防官）が、北九州市に集まります。

約2か月の研修期間で消防や防災に関する専門的な知識はもちろん実技訓練など幅広く学ぶことができます。

昨年の研修員からの報告によると、帰国後にすべての消防署を回って伝達研修を行い、ホース延長などの技術的な訓練だけでなく、訓練や現場活動を行う上で重要な規律や安全確認のための指差呼称なども取り入れており、北九州市で学んだ知識や技術だけでなく日本の文化が世界中に広まっていることを実感しています。

つきましては、本事業を実施するにあたり、「開講式」を下記のとおり行います。

※主な訓練や講義など、研修の見どころは別紙をご確認ください！

### 開講式

日時：令和7年9月8日（月）15時00分から16時00分まで

場所：消防局訓練研修センター 別館3階大研修室  
（北九州市小倉北区東港町一丁目2番5号）



#### 【問合せ先】

消防局 訓練研修センター（担当者：山下・本田）

TEL:093-592-5580 FAX:093-592-5590

# 研修内容など(見どころ)

## 1 JICA 課題別研修「消防・防災」開講式

### ■ 日時・場所

令和7年9月8日(月) 15時00分～16時00分  
訓練研修センター 別館3階大研修室  
(北九州市小倉北区東港一丁目2番5号)

### ■ 出席者・参加者数

- ・独立行政法人国際協力機構(JICA)九州センター所長
- ・総務省消防庁国民保護・防災部 国際協力官
- ・消防局長、消防局各部長、各消防署長
- ・JICA 研修員(8の国と地域10人)



バングラデシュ人民共和国



ベリーズ



ジブチ共和国



モンゴル国



パレスチナ



パプアニューギニア独立国



南スーダン共和国



ベトナム社会主義共和国

### ■ 内容・次第

開講式は、各国の国歌を北九州市消防音楽隊が生演奏する中、カラーガード隊が各国の国旗旗手として入場し、その後、各研修員の紹介を行います。

- (1) 研修員入場
- (2) 各国の国旗旗手入場
- (3) 北九州市消防局長 挨拶
- (4) 独立行政法人国際協力機構 九州センター所長 挨拶 (後藤 光 様)  
わきもと あつし
- (5) 総務省消防庁 国民保護・防災部 国際協力官 挨拶 (脇本 篤 様)
- (6) 研修員紹介・研修員代表挨拶
- (7) 記念撮影

## 2 建物火災における消火活動要領B

### ■ 日時・場所

令和7年9月24日(水) 9時00分～16時00分  
訓練研修センター  
(北九州市小倉北区東港一丁目2番5号)

### ■ 見どころ

基本的な消火技術や消火活動に必要な物理や化学の基礎知識を学んでもらうとともに、本市の消防活動要領を座学及び訓練を行うことで習得してもらいます。

本市の消火活動要領や訓練方法などは、過去の研修員からのニーズも高く、JICA課題別研修「消防・防災」の中でも中心となる研修の一つです。



### 3 DIG (災害図上訓練)

#### ■ 日時・場所

令和7年9月30日(火) 13時00分～16時00分  
JICA九州センター  
(北九州市八幡東区平野二丁目2番1号)



#### ■ 見どころ

DIGは「D (Disaster 災害)」、「I (Imagination 想像力)」、「G (Game)」、ゲームの頭文字を取って命名されました。DIGは「災害を理解する」「まちを探索する」「防災意識を掘り起こす」という意味が込められた防災力を高める方法です。

この研修は、研修員が寄宿している「JICA九州センター付近で災害が起こったら」という想定でDIGを行います。また、自国の防災力を向上するために研修員それぞれがDIGを行えるようにするのが目的です。



### 4 消防機械器具 (三連はしご・空気呼吸器)

#### ■ 日時・場所

令和7年10月1日(水) 9時00分～16時00分  
訓練研修センター  
(北九州市小倉北区東港一丁目2番5号)



#### ■ 見どころ

三連はしごや空気呼吸器は、私たち消防士が災害現場で活動するために欠かせない資器材です。

これらを安全・確実に取扱うための知識を伝達し、実技訓練をととして技術の習得を目指します。

### 5 HUG (避難所運営ゲーム)

#### ■ 日時・場所

令和7年10月17日(金) 13時00分～16時00分  
訓練研修センター  
(北九州市小倉北区東港一丁目2番5号)



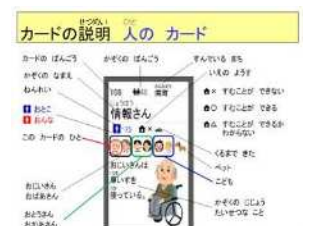
#### ■ 見どころ

大規模災害時の応急対策活動の中でも特に重要なものの一つが避難所運営です。HUGは「H (Hinanzyo 避難所)」、「U (Unei 運営)」、「G (Game ゲーム)」の頭文字を取ったものです。また、「HUG」には英語で「抱きしめる」という意味があり、「避難者を優しく受け入れる」といったイメージと重ね合わせて命名されました。

1枚のカードを避難者と見立てて、避難所として使用する体育館や教室の平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを疑似体験するゲームです。

研修員各国の避難所運営についてディスカッションしながら、実際にHUGを行い本市の避難所運営を体験してもらいます。

今回は、新たに作成した英語版のカードを使用します。



## 6 泡消火剤による消火技術

### ■ 日時・場所

令和7年10月20日(月) 13時00分～16時00分  
訓練研修センター  
(北九州市小倉北区東港一丁目2番5号)

### ■ 見どころ

昨年、戦禍の中にあるウクライナに、本市を含む産学官で開発された環境に優しい消火剤が送られました。この消火剤は、天然由来の石けんが主成分で少ない水で素早く消火でき、人体や環境に優しいのが特徴です。

研修の中で、実際に木材を燃焼させ、泡消火剤と水の消火能力の違いを体験してもらいます。



## 7 救急法及び救急講習（研修員による北九州市立大学留学生への救急指導）

### ■ 日時・場所

令和7年10月28日(火) 14時00分～15時30分  
北九州市立大学 ひびきのキャンパス  
(北九州市若松区ひびきの1番1号)

### ■ 見どころ

救急法について1日学んだ後、北九州市立大学の留学生を対象とした救急講習を行います。講師は研修員が務め、留学生に心肺蘇生法を指導します。

救急法を学び自国に持ち帰ることはもちろんですが、留学生に心肺蘇生法を指導することで、北九州市の救命率向上にも寄与します。

言語の通じる留学生と楽しく交流する研修員の姿がとても印象的です。



## 8 総合訓練展示

### ■ 日時・場所

令和7年11月13日(木) 14時30分～16時00分  
訓練研修センター  
(北九州市小倉北区東港一丁目2番5号)

### ■ 見どころ

JICA課題別研修「消防・防災」の消防に関するカリキュラムの集大成として、研修員による総合訓練展示を行います。

この訓練では、火災を想定し、研修員が指揮隊や救助隊、はしご車隊指揮者として複数の隊の指揮をとり、また、各隊の隊長として建物の中に取り残された人の救助活動や消火活動などを行います。

